

the Lion

2015-2016 VOL.2



沼津御用邸記念公園

■ 地区ガバナーアピール

■ 10月地区統一アクティビティ月間活動紹介

■ 事務局便り



ザ・ライオンタイムズ
DISTRICT 334-C

ガバナーアピール

GOVERNOR APPEAL



6月下旬にハワイで行われていた国際大会で、30余年ぶりに日本から国際会長が軍艦マーチとともに選出され、我々今期を担当するガバナーも同時に承認されました。

「さあ、いよいよ本番だ!」と機上では期待と不安を交錯させながら帰って参りました。同期のガバナー連中も一様に気を引き締めながら各々の地区に帰っていったようです。

その後、息つく暇もなく地区主催の各セミナーが始まり、静岡、東京、名古屋と会議・打ち合わせが続き、私としては早く地区内のクラブ会員、地区役員、ZCの皆さんと膝を突き合わせて話をしたいと思いながら時間のほうは思うように任せず、イラつく時を過ごしました。

今期は、まず国際会長がこの334複合地区から選出されたことで様々な意味で大変なことがあります。山田国際会長が言われていましたが、創立100年記念の前の99年にやらなければならないことの認識、200年に向けて未来を見据えた改革、様々な国でのライオンズクラブの混沌と

した現状のすみ分け等、国際会長に課せられた責務は大変に重いものだと思います。ましてや、同じ複合地区として、同じ日本ライオンズとして、しっかり彼を支えていかねばならないと思っています。

そんなことを思いながら我が身を振り返れば、今年度の地区ガバナーとしてアクティビティ・スローガンに挙げた各事業の遂行が重くのしかかり、気は焦るばかりでした。

8・9・10・11月と時は早くも過ぎ去り、間もなく12月の声を聞くばかりです。任期の半分の時間を過ぎようとしています。任期中の半分は私に与えられた本当の時間だと思っています。11月からは待望のクラブ訪問をまず一番に考えています。ぜひ皆さんの生の声、生の空気を感じさせてください。

終わりにになりましたが、ガバナー公式訪問では皆さんの温かいもてなしをいただきありがとうございました。ライオンズクラブ・メンバーの素晴らしさを再認識いたしました。紙面をお借りして感謝の想いをお伝えします。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

中学生とともに佐鳴湖ヨシ刈り

1 R 1 Z 9 L C



10月24日(土) 1R1Z9クラブの合同アクティビティとして「佐鳴湖浄化のためのヨシ刈り」を実施しました。浜松市内の中学生130名、浜松医大ボート部のみなさん、浜松西法人会のみなさんとともに総勢339名で心地よい汗を流しました。

佐鳴湖は市民の憩いの場で、この日も多くの市民がジョギングや散策をして楽しむ姿が見られました。しかしこの佐鳴湖、実は汚れが溜まりやすい地形的特質に加え、周辺からの生活排水の流入で水質悪化が著しく、平成13年から18年まで「全国湖沼水質ファースト1位」で有名になってしまいました。

汚濁の原因となる物質は「チッソ」や「リン」。ヨシはこの「チッソ」や「リン」を栄養として吸い上げ成長するので水質浄化に役立ちます。しかし成長したヨシを放っておくといずれ倒れて再び湖水に戻ってしまうので、この時期に刈り取るのです。

そして刈り取ったヨシはお茶農家に引き取っていただき、敷き藁として利用してもらいます。

以前、湖周辺では泥の臭いがかなり気になっていましたが、だんだん緩和されているように感じます。水質調査でも平成25年は「ファースト5位」まで改善したそうです。参加してくれた中学生や大学生がとても一生懸命に作業してくれたことを心強く感じました。今日の体験をぜひ長く記憶に留めて欲しいと思います。閉会式では参加者を代表して入野中学ボート部の和田健太郎君から「普段練習で使っている佐鳴湖に感謝の気持ちを込めて参加しました。きれいになった佐鳴湖でますます練習に励みます。」と清々しい挨拶があり、参加者一同充実感いっぱいこの日の活動を終えました。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

1R2Z・4Z 第23回献眼者合同慰霊祭

1 R 2 Z ・ 4 Z 1 1 L C



前日からのテレビや新聞による雨の予報を外して、晴れ間の見える明るい空模様の一日となりました。袋井市役所から北東に車で十分程行った山間に会場となった油山寺があります。駐車場の隅には、赤や紫のコスモスが長い首をふって私たちを出迎えてくれました。

「第23回献眼者合同慰霊祭」はこうした中で、220名を超える多くの方々のご列席により、10月17日午前10時半より開式となりました。1R 2Z・4Zの11クラブが合同で開催するもので、今年度は磐田LCがホストを務めました。

磐田LCの献眼献腎献血委員長 鈴鹿のよく通る声を司会とし、相場会長の開式の辞により、慰霊祭は遠くに鳥の声を聞きながら始まりました。

献眼者ご遺族代表の新村様はその日の空の様な淡いブルーの着物に身を包み、小さく挨拶された後、体験をお話されました。

磐田LCメンバーであられたご主人は病に侵される中で献眼を決意されたそうです。ご病気への不安と孤独の中で、ひとのために提供すること決意されたのです。

その後に「開眼者お礼の言葉」として、新井様がマイクの前に立ちました。長い間視力が弱く苦勞して来たが、角膜移植手術により世界が変わったそうです。慰霊祭でご挨拶をお願いするのは今回で3回目になりましたが、光を取り戻すことができた喜び、感謝の気持ちをお伝えしたい、と快くお引き受け下さいました。

アイバンク理事長で眼科医であられる堀田様はご自身の経験談と、移植を受けた女性からのお礼の手紙を紹介して下さいました。

来賓の渡部磐田市長は「海外出張を止めてこの慰霊祭に出席して本当に良かった。」とご感想を述べられました。

会場は静かで、ハンカチを取り出す方もありました。11本並んだライオン旗が風に揺れていました。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

奥浜名湖ライオンズクラブ チャリティコンサート～子供たちに夢を～

1 R 3 Z 奥浜名湖 L C



2年前、CN50周年記念式典で開催した、ピアノコンサートが大変好評だったことを受け、本年度のアクティビティとして【奥浜名湖ライオンズクラブチャリティコンサート～子供たちに夢を～】の企画が持ち上がりました。

今回は普段触れる機会の少ない音楽の世界を多くの子供たちに楽しんでもらうこと、音楽の道を目指し頑張っている子供たちに本物の音楽を届けることを目的とし、小中学生を無料、高校生以上を有料としました。

当日は11月3日文化の日という事もあり、各地で様々なイベントが開催されておりましたが、ピアノを習っている小学生、コーラス部の中学生、音楽の道を目指す高校生、音楽が大好きなご夫婦等、約300名のお客様がご来場くださいました。

プログラムは、ピアノクラシック演奏・ソプラノ独唱・ヴァイオリン演奏・ピアノジャズ演奏の4部構成。

各演奏者の方々が子供たちにも分かりやすい解説を挟みながら、素晴らしい演奏を披露してくださいました。会場中に広がる緊張感、迫力、そして心地よい音色をお楽しみいただけたのではないかと思います。

開催にあたっては、会員L宮本久美子を中心に家族会員L前田勇佑及び賛助会員も含む会員全員が一丸となって活動しました。

また今回のコンサートでは、出演者の皆様をはじめ、会場をご提供頂いた浜松学芸中学校・高等学校様、当日働いてくれたボランティアスタッフなど、私達の思いを理解し、協力してくださった多くの方に支えていただきました。

音楽と奉仕の精神によって、子供から大人まで様々な世代の人たちが繋がったように感じたアクティビティでした。

今後もこのチャリティコンサートを奥浜名湖ライオンズクラブの伝統的なアクティビティとして続けていけたらと考えております。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

ベーター麻機ガイドシステム 贈呈式

2 R ・ 1 Z ・ 5 L C



11月15日（日）2R・1Z・5LCの合同アクティビティを麻機遊水地で実施。前日の雨もあがり、総勢86名のライオンが集いベーター麻機へ案内看板とガイドシステムを贈呈いたしました。

ここには各LCが植樹をしたりベンチを寄贈してありましたが、このベーター麻機には子供病院をはじめ、静岡てんかんセンターや特別支援学校の生徒さん達がおります。また、この土地は55ha・周囲4キロ、歩くと2時間もかかり、道は迷路のようになっています。今回ここに案内看板を設置し、ガイドシステムを使って障害者の子供達が遊水地を案内する事が出来れば、彼らの社会参加と自立に役立てると思って計画しました。

特に看板については、ただの案内板ではなくスマホをかざし、ダウンロードするとポイントポイントの内容が音声と動画によって再生出来、それを持てば他の場所で見せる事も出来ます。我々にはこのノウハウがありませんでしたが、常葉大学の造形学部の学生さんたちがボランティアで参加していただきました。

これを機に、麻機遊水地をもっとPRし、1人でも多くの方に来ていただき、静岡の自然とここでがんばっている生徒さん達と接していただければと思っております。

これらの源資はチャリティゴルフの収益金と一人一人のライオンの寄付によって行う事が出来ました。

ここまで色々のご協力いただいた多くの皆さんに心から御礼を申し上げます。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

清水職人まつり 献血・ダメゼッタイ運動

2 R 2 Z 5 L C



2R2Zの合同アクティビティは、清水職人まつりに於いての献血活動・薬物乱用防止「ダメゼッタイ」のチラシ配布、献眼・献腎キャンペーンを行いました。

以前より活動していた、清水みなとライオンズクラブのアクティビティを、5クラブで協力して活動する事になりました。

この職人まつりは清水建設産業組合の皆さんが、家を作る職人との交流の場として、清水駅前の広場で開催しているものです。

実演・販売、体験コーナー、高所作業車の試乗があり、家族で楽しめるまつりです。

そこで、来場の若いお父さんやお母さん、職人の皆さんに献血をお願いしました。

5クラブで時間を区切り受け付けを担当し、献血車へ案内後、その場で血圧測定・問診をしていただきました。

今回は、80名以上の登録がありましたが、残念ながら協力いただけない方もありました。

薬の服用・血圧の高い方・65歳以上の方などが理由です。

この合同での献血活動も、5年以上継続させることができました。

今後も協力していただける方を増やせるようにアピールしながら活動していく予定です。

また、今年度は5クラブ合同で、日本銀行静岡支店長の講演会を開催いたしました。この模様は、静岡新聞社が取材し新聞に掲載されています。

初めての試みという事もあり、お話をうかがったのは5クラブのメンバーだけでしたが、今後は一般の方にも参加いただける講演会を合同アクティビティとして開きたいと考えております。

その際、資金確保の観点から有料で開催し、他事業の運営に利用できればと思っています。

今後2R2Zでは、各クラブの事業をまとめPR用のパンフレットを作成し新しいメンバー発掘に利用していく予定です。会員増強に少しでも役にたてば幸いです。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

市民貸出用車椅子の贈呈と 献眼・薬物乱用防止キャンペーン

2 R 3 Z 6 L C



2015年10月10日、島田市社会福祉協議会主催の『ふれあい広場』が開催されました。これは「みんなでつなごう！福祉の輪2015」をスローガンに、子供から大人まで、楽しみながら福祉について触れる機会をもってもらいたいとした内容で行われました。

その中で、地区統一アクティビティは、2R3Z・ZC L.大島至了をはじめ藤枝LC、島田LC、焼津LC、榛南LC、川根LC、藤枝巽LCの6クラブで島田市社会福祉協議会へ「市民貸出用の車椅子」6台を寄贈致しました。

障害者、高齢者、患者の皆様にご利用して頂き、活動の補助に利用いただければ幸いです。

また、秋の訪れを感じる中、会場前広場では市民との交流の場として「ヨーヨー釣り」「輪投ゲーム」の模擬店を出し、600人近い参加者で大変な賑わいでした。

同時に、献眼登録・薬物乱用防止ダメゼッタイの啓発活動には風船やリーフレット、ポケットティッシュなどの配布をし、PRを致しました。

特に、薬物乱用者が増加傾向にある中、我々の活動が抑止へと繋がると信じ、今後も地道に続けるべきだと強く感じました。

当日のイベントには、点字や筆談のコーナーも設けられ、健常者も体験をすることで、より一層、ふれあいの心を持つことが大切であると痛感しました。

また、別の福祉団体による模擬店も多数あり多くの方々と交流を持つ良い切っ掛けとなりました。

それにより、ライオンズクラブの活動内容を理解して頂くことが出来たのではないかと思います。

参加したクラブメンバーからも、「大変勉強になった。」との声が聞かれました。

今回のイベントへの来場者、各クラブメンバー、その他多くの方々と『ご縁』を大切に、今後のクラブ奉仕活動を実践して行く上で生かしていくことが出来ればと思います。

大変充実した一日でありました。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

城東保健福祉エリア花壇の整備と 「防災かまどベンチ」贈呈式

2 R 4 Z 静岡巽 L C



平成27年10月18日、静岡巽ライオンズクラブの10周年記念事業として、2005年に設置した静岡市葵区にある、静岡市城東福祉エリア内の花壇の植え替え作業を行いました。

今期第2回目で、当日は環境保全委員会のメンバーを中心に多くの方に参加していただきました。

寒い冬に強い、アリッサム・スノーボール・スミレ等に植え替えましたので、来年4月の第3回作業のときまで綺麗に咲き続けることと思います。

この花壇は、レイズドベット花壇と言い、高さがあり、高齢者や身体の不自由な方でも花を楽しめるように考えられています。

車椅子に乗ったまま正面から花に触れることもでき、目の不自由な方、腰や膝が曲げられない方にも花の香りや感触を楽しんでいただくことができます。

また、25日にはこの花壇の前方に、CN20周年記念事業の地域貢献事業として「防災かまどベンチ」を設置し、田辺静岡市長をはじめ、行政関係者、学区役員の方々のご列席のもと贈呈式例会を開催いたしました。

「防災かまどベンチ」はレンガ囲いの土台に木製の座板を乗せたもので、普段はベンチとして利用し、非常時には炊き出しかまどになり、避難してきた人に温かい食事を提供することができます。

これにより、命をつなぐ生きる力をつけることができ、精神的な安定も得られ、復興への意欲も高まることでしょう。

大地震などの自然災害は、人間の力で食い止めることはできません。

しかし、こういった備えによって災害を減らすことは可能です。

有事に落ち着いた行動がとれるよう、災害時の心がまえを日頃から話し合っておきましょう。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

すばらしき街・沼津

3 R 1 Z 沼津駿河 L C



沼津駿河ライオンズクラブは今年認証30周年を迎えました。その記念事業として考えたのが、市の中心にある沼津市民文化センターの大ホール(1,500名収容)で沼津を知ってもらう為のイベントをしよう!という事でした。ご多分に漏れず最近の沼津市は、商店街のシャッター通り化、人口の減少、等々…元気がありません。その沼津を元気にするにはどうしたら良いか、皆の知恵を集めて考え出した結論が、我々自身がもっと沼津に自信と誇りを持つ事、それにはもっと沼津をよく知る事ではないか、あらゆる角度から沼津を見直していったら今まで気づかなかった沼津の良さに気づくかもしれない。それを沼津の市民に伝えていこう!沼津の歴史、沼津の名所、沼津の民話、沼津の歌…とてもメンバーだけでは出来ない事業なので、歴史については「沼津史談会」の皆さんに、名所については「ぬまづ観光ボランティアガイド」の皆さんに、歌の部分は「よさこい東海道」の皆さんに夫々、

協賛団体になっていただき、後援には、沼津市、沼津市教育委員会、沼津商工会議所、沼津観光協会、さらには新聞社の方々にも名を連ねていただきました。題して「すばらしき街・沼津」

沼津にはすばらしい子守唄があります。子守唄は一般的にどこの子守唄も怨み節が多い中、沼津の子守唄「この子のかわいさ」は愛に満ちあふれた唄であり、まさに全国に誇れる唄である、と国文学者の金田一春彦先生が絶賛した唄であります。

沼津市連合自治会も積極的に協力してくれ全戸に回覧をまわしていただく事が出来ました。まさに全市が一丸となった事業でした。大ホールを満席にする事は出来ませんでした。来場した多くの市民が、夫々に新しい気づきを得られ、改めて「郷土沼津」に自信と誇りを持ってもらう事ができ、これからの沼津市にとって必ずや有意義なイベントであったと自負して居ります。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

古紙回収事業と会員メンバーの 1,000円寄付によるLCIF献金

3 R 2 Z 5 L C



10月3日(土)に当地区の2Z5LCの合同で古紙回収作業を行い売上金額全額と合わせて各クラブ会員全員よりの1人1,000円寄付をいただき総額約35万円になりその全てを各クラブを通じLCIFに送金致しました。

当日は快晴の下、富士市役所北側の駐車場に朝7:00より集合して新聞紙、ダンボール、雑誌の分別や計量の準備、回収用のパッカー車に古紙を積む作業を行い多くのクラブ員が朝から汗を流しながら貢献していただきました。

セレモニーは9:30より5クラブ合同で約150名近く出席して約1時間行いました。事前に古紙回収したクラブ、当日古紙の持ち込みのクラブ、両方のクラブと多くの古

紙が集まりクラブ別による集荷内容発表、1,000円寄付の人数発表をして、各クラブの事業に対する一言スピーチ等も盛り込み終了となりました。今回の事業では古紙が各地域で学校や町内での回収が盛んに行われている地区もあり、集めるには多くの苦労もありましたし、事前回収においてはストックしておく場所の問題等もありました。5クラブのクラブ員の協力があり社会貢献活動に汗を流す事は、とても有意義なことで事業を通じて交流も深まりました。またライオンズ100周年記念事業の一環としてLCIF献金とさせて頂き、有意義な活用をお願いしたいと思います。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

100年の計 『富士山に緑を返そう運動』の実施

3 R 3 Z 御殿場 L C



御殿場ライオンズクラブでは、1世紀に及ぶアクティビティとして、100年の計『富士山に緑を返そう運動』を実施しています。この事業は本年度で26年目を迎えます。1707年に富士山南東部が噴火しました。この噴火の為に御殿場市裾野市小山町は火山灰やスコリアと呼ばれる『焼き砂』で甚大な被害がでました。300年を経て市内外ではすっかり面影はありませんが、富士山南東部にはスコリアが堆積し航空写真を見ますとその部分のみ黒くなり植物の育成がありません。その為、雪崩や土石流が起き自然災害が発生しています。

時の諸先輩方は、広大なスコリアに覆われた富士山南東部に噴火前の緑を取り戻し災害の起こらない地域にしようと壮大なアクティビティを計画しました。ライオンズクラブメンバーだけでは限界があり地域の方々の協力や若い世代の方々に協力をしてもらうことにより恒久的に展開し後世に継続する基盤を作りました。それゆえ26年間継続事業として現在も引き継がれ地道に活動をしています。

10月1日は富士山御殿場口新五合目に自生しているバッコヤナギから苗木を採取し御殿場市内にある圃場に挿し木をしました。2つの圃場に1,700本の苗木をつくり再来年の6月にこの地に植樹します。今年は、この時期に昨年挿し木にした直植えの挿し木をポットに移し来年6月の例会で富士山に植樹をする予定です。また、御殿場市立西中学校の協力により1年生は授業の一環としてこの事業に参加をして頂き、同日西中圃場にある挿し木をポットに植え替える作業をしてもらいました。この圃場の挿し木の育成はとてもよく来年の6月例会での植樹が楽しみです。

現在は、カラマツなどの飛来植物が雑木林を形成し多種多様の植物や生物が混在する地域になりつつあります。少しずつですが、確実に富士山に緑が戻ってきています。75年経った頃には私たちはいませんが、植樹により緑になった富士山が目に見えます。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

竹林伐採整備（荒廃を防ぎ地域環境保全へ）

3 R 4 Z 4 L C



3R4Z(富士宮ライオンズクラブ、芝川ライオンズクラブ、富士宮中央ライオンズクラブ、富士宮芙蓉ライオンズクラブ)では10月18日(日)、市内芝川地区の今では全国区ブランドとなった筍の名産地である内房という集落の竹林の伐採整備事業を行いました。4クラブの合同アクティビティとして伐採整備事業を行ったのは今年度で3回目となりました。近年、地主の高齢化や地域の過疎化から竹林に人が入らなくなり、放置され様々な影響が問題視されています。かつては日本の風景を代表した美しい竹林が今や「荒廃竹林」「竹公害」と呼ばれる程他の樹木の成長を妨げると同時に、竹林が拡大し過ぎて居住地に迫る問題まで発展しています。

このような事から、環境保全と地域活性化の為に同事業を実施する事となりました。これまでは環境整備の為に主に植林に力を入れて来ましたが、植林ではなく、伐採というアクティビティを行いました。地域のニーズに合ったアクティビティという観点からこのような事業が生まれました。参加したメンバー達は急な斜面を登ってのこぎりを使い丁寧に間伐や枝掃いをしたり、伐採した竹を適当な長さに寸断する作業を行いました。春先には良質な筍が採れ、初夏には「螢の里」として美しい景観がみられる事と思います。今後は、伐採作業の希望者が跡を絶たないという問題をどのように解決するかという問題も考慮しつつ地域に密着した奉仕活動を考えていきたいと思います。

クラブ活動紹介

SPECIAL EDITION

天城山自然環境保全事業

4 R 1 Z ・ 2 Z 1 6 L C



伊豆エリア4R-16クラブでは、統一アクティビティとして2011年より“今、天城があぶない”をテーマとした「天城環境保全啓発運動」を事業展開してまいりました。初年度は啓発パンフレット・DVDの製作及び配布、2年目は啓発ポスター“今、天城があぶない”の製作とパネル展の開催、3年目はハード整備として各クラブ名を記載した案内看板の設置及び橋梁整備を行い、昨年は自然破壊や土砂災害の現状視察を目的とした16クラブの有志による万二郎岳・万三郎岳周辺登山や啓発ポスターのリニューアル版“天城を仰いで”を作成し伊豆全域に掲示して、環境保全並びに伊豆の魅力の啓発活動を行い、6月には「天城山の自然環境保護と自然を生かした観光」をテーマとして講演会と交流会を行いました。いま伊豆半島内ではジオパーク推進協議会や美しい伊豆創造センター設立に伴い伊豆エリアのジオポイントは元より天城山を中心とした広大な自然環境の保全が叫ばれております。

今年度の作業計画として、天城山の象徴でもある八丁池の周辺に多くのゴミが落ちているとお話がありました。八丁池は昭和天皇も訪れ神秘的な野鳥の森といわれています。2015年10月25日(日)に4R-16クラブメンバー41名と伊東地区内ボーイスカウト20名・公募による一般参加者3名の64名で「八丁池周辺清掃活動」を行いました。晴天に恵まれ絶好のウォーキング日和で、途中ではブナ林やヒメシャラ林の説明を自然ガイドより受け八丁池まで約2時間半の自然観察、昼食後1時間清掃活動を行いました。鹿の食害により10年前まではブナの下はスス竹でおおわれていましたが、現在はほとんど鹿に食べられてしまいました。地肌が各所に見られる様になり崩落が進んでいく事が心配です。4Rの16クラブでは、今後も環境保全活動を継続し大切な私たちの「天城山」を守るための啓発運動を継続して行きたいと思います。

事務局だより

INFORMATION

2015～2016年度第2回キャビネット会議報告



2015～2016年度第2回キャビネット会議が11月17日(火)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

1. 2014～2015年度キャビネット会計決算報告並びに監査報告
2. “ 各種会議開催日程の変更について
3. 第62回地区年次大会議案提出締切日、同大会運営組織表・実行表・収支予算について
4. 次期地区ガバナー・第一副地区ガバナー及び第二副地区ガバナー届出要領及び次年度キャビネットの組織編成について

キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。パスワードはクラブ事務局がキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

2015年冬季YCE来日青少年について

今冬季、当地区への来日青少年はオーストラリア男子1名(浜松ホストLC・浜松葵LC・浜松東LC)とマレーシアから2名(清水羽衣LC(F)、芝川LC(F))、の3名となりました。冬季複合地区主催のユースキャンプは12月15日から20日まで、岐阜県高山市の国立乗鞍青少年交流の家を主会場に、後半は京都見学が実施されます。全員年末には帰国します。ホストクラブ・ホストファミリーの皆様には年末のご多忙の中、温かいご協力に心より感謝申し上げます。

12月～2月のキャビネットスケジュール

12/14(月)	3・4R	L育成グループ第2回研修会
12/16(水)	1・2R	L育成グループ第2回研修会
12/30(水)～1/5(火)		キャビネット事務局年末年始休暇
1/18(月)		第3回LCIF・献眼・献腎・献血委員会
1/20(水)		第2回GMT・GLT会議
1/26(火)		上半期会計監査
2/9(火)		第3回ガバナーチーム会議
2/23(火)		第3回キャビネット会議

2015年8月～10月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2015. 8.16	L 安 藤 美佐保	御 殿 場LC
2015. 8.17	L 鈴 木 菊三郎	三 島LC
2015. 8.21	L 磯 西 實	静 岡LC
2015. 8.29	L 堀 江 幸 雄	御 殿 場LC
2015. 9. 6	L 宮 澤 廣	浜松ホストLC
2015. 9.16	L 龍 口 基 雄	浜松リパティLC
2015.10.20	L 小 澤 道 雄	静 岡 橘LC
2015.10.27	L 鈴 木 敏 行	袋 井LC

地区誌表紙と裏表紙について

今年度の表紙、裏表紙共に「地域の歴史」です。



沼津港二十三番地